消防指令システムが新しくなりました

問砂川消防署TEL 54-2196



NEW 車両運用端末装置（AVM）

緊急車両に新しく設けられた車両運用端末装置（AVM）に災害地点情報などを送り、ナビ機能が備わったことによって現場までの誘導が容易になりました。指令台と緊急車両のメッセージ送受信や引き揚げ途中の出動指令なども可能となりました。

NEW 映像通報システム

映像通報システムは、スマートフォンからの119番通報者にビデオ通話の依頼をし、現場の状況を消防指令センターで受信して確認することができるシステムです。このシステムは、音声のみでは把握が難しい状況でも、リアルタイムの映像により現場の状況を確認することができ、心肺蘇生法などが必要な緊急性の高い場合には、指令員が送られてきた映像を見ながら応急手当の方法を指導したり、動画を通報者に送信することができます。

通報から出動まで

通報受付

119番通報受付と同時に、システムが起動します。



発信地位置情報表示

発信地表示システムで表示された通報者の位置と聴取した地点を照合し、迅速に災害地点を特定します。



予告指令出動準備

音声合成システムによる予告指令を行います。出動隊は、予告指令により初動が開始されることで出動までの時間短縮を図ります。



出動指令



出動隊の編成後、音声合成による指令や指令書により指令内容を伝えます。招集システムにより消防団員を招集し、態勢を強化します。

出動

車両運用端末装置（AVM）を装備している車両は現場へ最短で到着できるルートを確認し、いち早く現場へ急行します。



全国トップクラスの迅速な救急対応



砂川地区広域消防組合では、119番通報を受けてから救急隊が現場へ到着し、医療機関へ引き継ぐまでの時間短縮に取り組んでいます。
最新の消防庁公表データでは、砂川地区広域消防組合の平均所要時間は、入電から病院収容まで**28.6**分。全国平均の44.6分と比較して約**16**分短く、全国約720の消防本部中トップクラスの実績となっています。